

# このトトコラム 教えて！エリ先生

## この時期の発達過程

歩行が安定しバランス感覚も発達してきます。ボールを投げて遊んだり、音楽に合わせて体を揺らして動かしたり、ママやパパとのふれあい遊びやダイナミックな遊びも大好き！積極的に体を動かす遊びの機会を作ってあげると良いですね。手の操作も巧みになってくるので、自分でコップを持って飲み物を飲むのも上手になってきます。子どもサイズの持ちやすいコップを用意してあげましょう。プラスチックのものは落としても割れないで便利ですが、扱い方がつい雑になってしまいがちなので、食器の扱い方を学ぶという意味でも、強化ガラスなど本物の食器がおすすめです。砂場でもそれまでは手で触って遊ぶだけだった子も、シャベルを使ってバケツに入れて遊べるようになります。なぐり描きも、それまでは点や線だったものから少しづつゆるやかな曲線も描けるようになります。

手をグーにしたりパーにしたり、パチパチ叩いたり、様々な手の動きが出来るようになってくるので、歌に合わせて簡単な手遊びも楽しめます。まだ上手く出来なくとも大人の手の動きを喜んで見ながら吸収していますので、色々な手遊びをやってあげましょう。また1歳半近くになると、大人の真似をしたい、同じようにやりたいという衝動にかられる模倣期に突入します。大人が掃除機をかけているのを見て自分も掃除機を持って一緒にかけているつもりになったり、お風呂で頭を洗っているのを見て自分もごしごし頭を洗う動作をしたり。見ていてとても微笑ましくなりますね。模倣は、自分をはっきりと意識する自己意識が育ってきた証でもあります。また周囲の人にも興味をもっているという証拠。自分と相手を意識し、違う存在であると気づくから人まねが出来るのですね。

この時期にお勧めなのは簡単なお手伝い！例えばローテーブルを拭く、ごみをゴミ箱に捨てて来てもらうなど、お子さんが出来そうな簡単なお手伝いであれば喜んでやってくれるでしょう。この頃から子どもサイズの小さな雑巾を用意してあげても良いかもしれません。「一緒にやろうね」と言ってお子さんと一緒に作業をするのもお勧めです。子どもは自分も大人と同じように出来るということや、一緒に共同して作業が出来るということが嬉しいのです。自分も出来たという喜びや、やってみたいという意欲を育ててあげたいですね。

子どもは真似で学びます。大人の動き方を見て吸収していますので、やり方を丁寧に見せてあげましょう。

遊んだ後の玩具の片づけも大人が全部やってしまうのではなく、片づけ方を示しながら、習慣付けていくと良いですね。

## この時期のお悩み

中にはこの時期に後追いのような行動をするお子さんもいらっしゃいます。家の中でもママが離れると不安になって後をついて追いかけたり、一人で大人しく遊んでくれていたかと思えば、ママがそばにいないことに気づいて泣きだしてしまったり。家事も進まず、ママとしては大変に感じてしまうかもしれません。

一般的には後追いは生後9カ月～11カ月頃がピークと言われていますが、この時期の後追いは分離不安と呼ばれるもの。歩行が完成して自分の意思で行きたい場所に行くことが出来る、といった体験などからだんだんと自分という存在を意識する自己意識が進み、それまではべったり一緒だった母親も『自分とは別々の存在なのだ』ということを意識し始めます。そして、自立に向かって母親から自分を分離させようとするのですが、同時に完全に分離するときの不安を感じてしまい、まさに自立心と不安感が葛藤しているような状態なのです。

そんな葛藤の時期を乗り越える助けになるのは、まさに「安心感」と「信頼感」。

離れるときは「すぐ戻って来るから待っててね」と伝えたり、子どもが不安に感じている時はそれを否定せずに受け止めてあげる。そばにいる大人が、いつも子どもにとっての安全基地であれば、子どもは安心してまた自立へと向かって自ら進んでいけるでしょう。

井上エリ

子どもの心の根っこを育むcocorone主催。  
アドラー心理学とモンテッソーリ教育を活かした子育て講座をオンラインで開催中。

また、自身の保育士経験も活かしながら保育士向けの研修も行っています。

アドラー勇気づけ講師、モンテッソーリ教師、8歳と1歳の女の子と男の子のママ。

インスタグラム、ブログも更新中。



STAGE7  
(1歳4ヶ月～  
1歳6ヶ月)



保育園がつくる  
子育てサブスクリプション

パッケージ紹介

## 1 トブルスネオ (Fat Brain Toys社)

トブルスネオは、Astraベストおもちゃ賞やToy Of The Year賞など、海外で4つの賞を受賞しました。色鮮やかな球を積み上げたり、崩してコマのように回して遊べる、つみきのようなおもちゃです。上手に積み上げようと考え手で触れる事で、大脳が刺激され思考力や認識能力を育成することが出来ます。赤ちゃんや幼児でも握りやすい特殊な丸型仕様になっています。



## 2 1人乗りPKW (ケラー社)

いつの時代も子ども達に人気の乗り物玩具。男子子に限らず女子子であっても、「人形」が有ることで自分と重ねてイメージし、自分が車でお出かけしたことを思い出しながらこの車を動かします。あたたかく丸みを帯びていて優しい印象ですが、作りはとても頑丈なので、孫の代までずっと大切にできる玩具です。人形を載せ卸する指先の動きは器用さを要求されます。もちろん手にフィットしやすく、時代を問わないデザイン性の高さは他の追随を許しません。



## 3 スライドボードトレイン (ハバ社)

スライドボードトレインは、電車の形をしたノブをスライドさせて遊ぶ木のおもちゃです。おもて面には町の絵が描かれていて、電車が町の中を走っているようすを想像しながら遊べる楽しいデザイン。うら面はカラフルな「色」があふれるデザインになっています。スライドボードは、特に「書く（描く）」という動作につながる手の機能を高めてくれるおもちゃです。ノブをつまみ、いろんな方向に手を動かすことで自然と指先や手首を柔らかくしてくれますし、腕の運動機能も高めてくれます。



スライドボードトレインは、裏返しても遊べます。裏には、カラフルな丸の絵と、絵と同じ色の丸いノブがあります。ボードに描かれた丸がグラデーションになっていて色と色が重なった部分の繊細な色の違いもしっかりと表現されています。見ているだけでも色彩を感じて心を豊かにしてくれます。

## 4 大工さん (ニック社)

120年の歴史あるウォルター社からニック社が引き継いだロングセラー。天面の黄色い穴にベグを入れ、ハンマーで“トントン”叩くと、中に入っているベグが押し出されて横の穴から別のベグが飛び出します。ハンマーを上手に操作すること、ベグを支える指を叩かないように気を付けることなどは自分で経験しないと体得できませんね。「叩く」という真剣な遊びは誰もが通る道です。1歳半になったからこそ肘が上手く曲がって上手く操作できるのですね。「叩いたらダメ！」と取り上げるだけでなく、どうすれば安全にそれを体験させてあげられるのか？を形にしたヨーロッパではメジャーなおもちゃです。叩いていいものと困るものとの区別を教えてあげれば、少しずつ理解して成長していきます。



## 5 いっしょにサクサクおままごと！ (エド・インター社)

5

大人の仕事へのあこがれは男女問わず誰もが抱く感情です。男子だからままごとはさせたくない…という声もまだまだ聞かれますが、全く興味がない方が将来不安です。「サク」と切れる音は大人でも楽しいですね。子どもは初めは力が足りないかもしれません。それでも一生懸命に力を込めて、着れた時の達成感あふれる笑顔は最高です。ままごとは切ったら終わりではないのですが、初めの一歩には非常に楽しくお勧めです。このトイでは月齢が上がったらもう少し高度なままごと道具を案内しております。

## 6 ネスティング積み木/シリンドラー (プラントイ社)

6

すっぽりと納まった時の気持ちよさ、大人は「入れるだけ？」と思うかもしれません、子どもにとっては空洞が埋まって「完成した！」という何とも言えない心地よさの体験です。入れ子にする遊びとは逆に「積む」という行為は、空間認知力も必要とされる遊びで、そっと手を離すという微細運動能力も伸ばしてくれます。「丸」と「四角」とを比べることで、よりそれぞれの特徴にも気づいていけますね。

## 絵本 もこ もこもこ

まったく不思議な絵本です。出てくる言葉は「もこ」「にょき」「ぱろり」と奇妙な擬音ばかり。色や形だって……この絵本を開いて頭にハテナを浮かべながらも、そのまま声に出して読み続いていると、子どもたちが喜んでいます。何だか分からないけど地面から出てきた「もこ」「にょき」。そしてそれが「ぱくっ」と食べます。子どもたちは、「ぱくっ」の瞬間が大好き。子供の感性にぴったりと合った本です。

## 絵本 ピンポーン

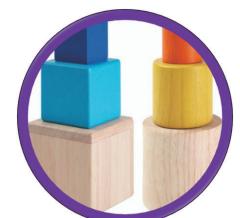
「ピンポーン」はーい、どちらさまですか。宅配便の人が荷物を持って来ましたよ。

玄関に写ったシルエット。誰でしょう？大きな包みのお届け物。何でしょう？

この繰り返しに小さな子どもも大喜び。毎日の生活の中からのお話ですね。

お客様が来るとうれしいものです。何やら楽しそうな包みを持っていますしね。

荒井良二さんの描く動物達も魅力的、カラフルで楽しいつくりと小さめのサイズの絵本が小わきに抱えて持ち歩くのにぴったりの絵本です。



## うた わらべうた

YouTube このトイchで紹介しております。  
QRコードからご確認ください。

